

新潟民商

新潟民主商工会
新潟市沼垂西3丁目
電話 (243) 0141
21年12月6日

「お客様は戻っていない」要望書で会員から寄せられた声をもとに新潟県と交渉

新潟民商は11月26日、新潟県商工団体連合会などとともに新潟県と新型コロナウイルス感染症禍で苦しんでいる中小業者への施策を求めて交渉を行いました。この交渉には新潟民商から野上昇会長を先頭に3名が参加しました。

交渉の冒頭に渡部睦夫新商連会長が「感染症に原油高騰などで中小業者を巡る情勢は厳しい。今日の要請をぜひ施策に反映して欲しい」とあいさつ。その後、事前に提出していた要請に対しての各課の回答がされ、意見交換となりました。



意見交換では松本里志副会長が、この間駅前支部が中心となり集めてきた要望書（下記参照）に基づき発言。「要望書に寄せられている通り、新型コロナウイルスの感染は落ち着いているが飲食店にはお客様が戻っていない。家賃支援などで県独自の支援金を作って欲しい」と訴えました。

また他の参加者からの「県の補正予算に事業者対策はあるのか？」という指摘に職員が回答に窮する場面も。県独自の事業者対策の弱さが露呈し、県側も「国の交付金が届き次第、検討していく」と回答するのが精一杯でした。



この交渉では、他に国民健康保険の減免制度や住宅リフォーム助成制度、返済の始まっている感染症対策融資などについても意見交換がされました。国の事業復活支援金は決まったものの、内容は不十分です。要望書を活用しながら会員の声を集めて、県・市に制度創設・拡充を求めていきましょう！

日程

- ・ 共済会三役会 12月14日
- ・ 青年部会 12月17日
- ・ スキルアップセミナー 12月20日

—新たな支援策を求める声が続出— 要望書で飲食業者の声を集める 駅前支部

駅前支部では、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている飲食店の現状を国や県・市などにも理解してもらおうと会員の生の声を集めるために要望書を作成。その要望書を持って会内外の飲食業者を訪問しました。

11月25日現在、34名の飲食業者から声が寄せられています。この要望書では、新潟県より出された「営業時間短縮要請」が9月に解除された後も、非常に厳しい商売の現状が浮き彫りとなりました。

要望書に寄せられた声

- * 営業時間短縮要請が解除されても客足は戻らず。2割程度の売上。
- * 消費税減税、インボイス制度は中止を。
- * 飲食チケットの配布をして飲食店に支援を。
- * 家賃や人件費の支払いが苦しい。家賃の引き下げを交渉してもダメだった。持続化給付金や家賃支援給付金などの支援策をお願いしたい。
- 持続化給付金などの支援策の要望がもっとも多く、次に国保料の引き下げや消費税減税やインボイス制度の中止などが多く挙げられています。

要望書を持って新潟市交渉

新潟民商が参加する大運動実行委員会では11月30日、12月1日に新潟市と交渉を行います（詳細は次号）。

今回の交渉では、駅前支部で集めた要望書を産業政策課に渡す予定です。その上で、①国に事業復活支援金と臨時交付金の拡充を求め、②新潟市独自に業者へ直接支援する制度を創設すること、③給付金を給付する際のスピードを速めることを求めて交渉します。

また制度が廃止となった「既存店魅力アップ事業」の復活や、制度は縮小された「健幸すまいリフォーム」の拡充、国民健康保険の傷病手当の対象を事業主まで広げることなどを求めます。

75歳でお祝い5万円！饅頭じゃないよ 「関屋支部・共済学習会」

関屋支部は11月21日、だいろの湯で共済学習会を開催し9名が参加。大腸がん検診の結果にホッとした後、『新型コロナウイルス感染症による入院、安静見舞金について』重点的に学習しました。現在74歳の床屋さんが、町内のお祝いも縮小されている中、共済の長寿祝金に大喜び、75歳以降もお祝いして欲しいと要望がありました。

併せて『班・支部活動の手引き』も学習。大島さんから「民商は会員1人1人が主人公、助け合いの組織。班でつながり互いの状況を把握し役員会へ。会に参加し協力してもらいたい」と説明がされ、便利屋さんからは「民商へは申告で入会し、今まで自分の事しか考えていなかった。中小業者の営業や暮らしを守ってくれる組織を継続・繁栄させるには自分もがんばって仲間を増やそうと思った」と心強い感想が出されました。



懇親会では飲食店の方が「給付金の情報を自分でも調べているが、赤粋ニュースは役に立つ」と太鼓判を押していました。

「参加して良かった！また来年も参加する」
「白根支部・共済学習会」

白根支部の毎年恒例行事となっている共済学習会。今年は11月21日（日）に少し遠出して関川村・高橋屋旅館にて開催。16名の会員が参加しました。

学習会では共済会理事の山口さんが講師となり進めました。最初に参加条件、見舞金の金額について説明。その後はQ&Aで更に詳しく学習。また今年の拡大行動や大腸がん検診の取組みなども紹介されました。

学習会の後は懇親会を行い、若い会員が少なくなる中、今後の民商についての方向性を各々交流し深め合いました。参加した会員は口々に「参加してよかった、来年も参加します」と久々の交流に喜んでいました。



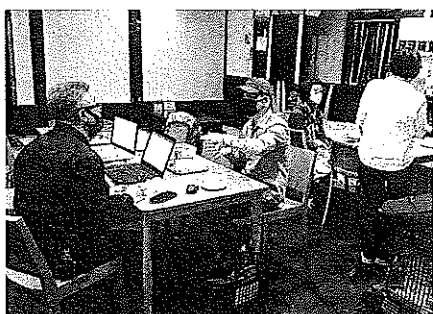
経営対策部・青年部共催ビジネススキルアップセミナー 持続化補助金に向けた 事業計画書作成会

11月22日、ビジネススキルアップセミナーが「えんではよこし」を会場に開催され、4名が参加しました。

前回参加し、「従業員の技術育成をする場所を作りたい」と計画書を書いてきた齋藤さん（塗装業）に、講師の山本美幸さんは「もつと自社のPRや自身の経歴を書いた方がいい」などとアドバイス。市橋雅彰副会長も参加し、複数の目から見て、質問や意見を出し合いました。

また、「何から始めればいいのか分からない」と参加した松原さん（サービス業）は、会場で申請用紙をダウンロード。「まずは書いてみる」と次回までに方向性を決めて作成した書類を持参して来る事にしました。二人とも2月締切の一般型の申請を目指します。

齋藤さんは「事業計画書以外にも様々な話が出て来て勉強になった。次回が楽しみ」と感想を述べていました。



経営対策部・青年部共催 ビジネススキルアップセミナー 小規模事業者持続化補助金に向けた 第4回 事業計画書作成会

12月20日(月) 19:00~20:30

会場：えんではよこし
(江南区横越川根町3丁目1-48)

今回のビジネススキルアップセミナーは、前回と同様に「小規模事業者持続化補助金」の申請に必要な「事業計画書」を参加者同士で意見交流を行ないながら作成します。自身の事業計画を第三者から意見をもらうことで新たな発見があるかもしれません。

講師
山本 美幸さん
(ミシンの友愛)
「持続化補助金の獲得経験があり、作成のポイントなどを教えてくださいます」